

情報センターはどう変わるか

教科「情報」の導入と情報センター

武蔵大学情報システムセンター
小野成志

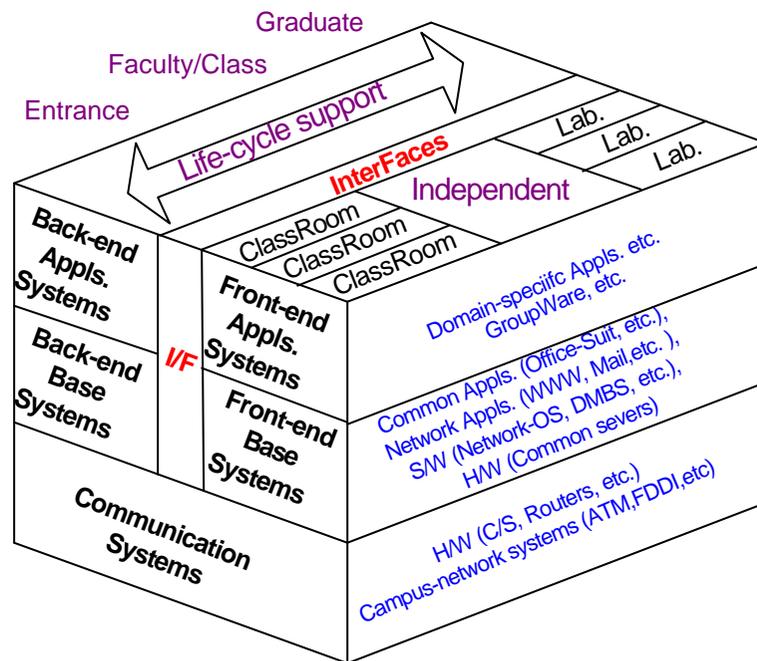
あらまし

- 大学の情報システムのモデル
- 大学の情報システムの歴史
- 教科「情報」の影響
- 情報センターの今後
- 武蔵大学における情報センターの現状
- まとめ

情報センターのミッション

- 大学内の情報システムの集約的な管理、利用支援
- 具体的な中身は大学ごとに異なる
 - ネットワーク管理
 - 教育研究支援
 - 情報教育機関
 - 情報システムマネジメント

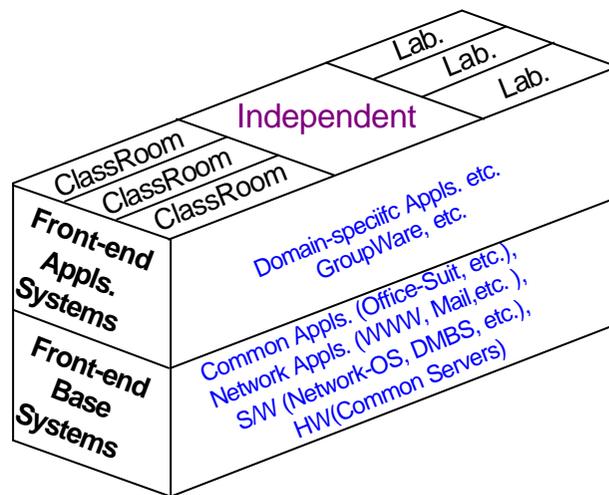
大学の情報システム



- フロントエンド
- バックエンド
- インフラストラクチャ

S.Umeda.etl: Outsourcing Strategy of Information Systems Management in Academic Organizations

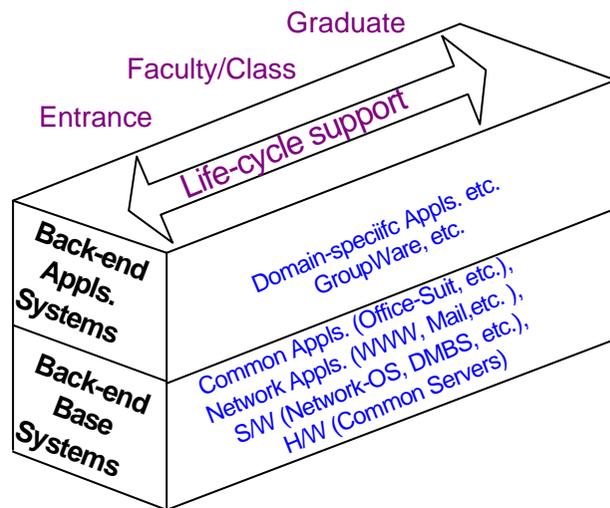
フロントエンド機能



S.Umeda前掲書より

- 情報センターの役割
 - リテラシー教育
 - ヘルプデスク
 - 授業サポート

バックエンド機能

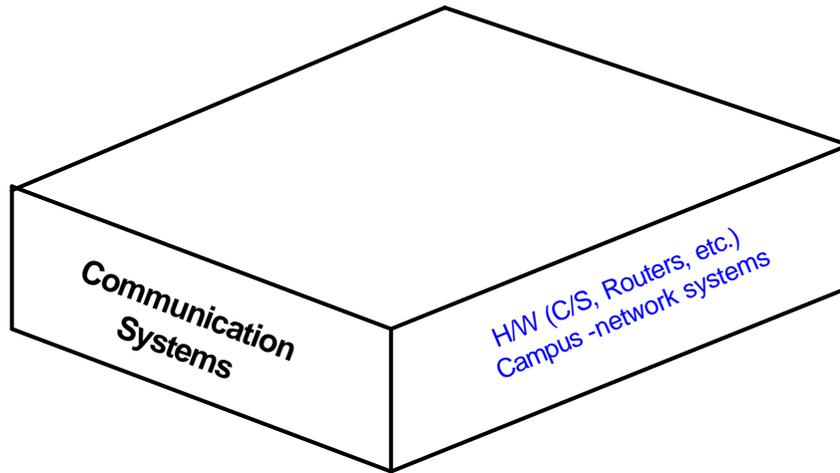


S.Umeda前掲書より

● 情報センターの機能

- 事務システム
- グループウェア

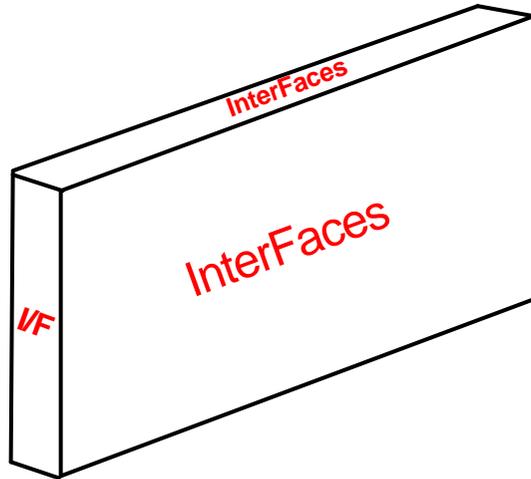
インフラストラクチャ管理機能



S.Umeda前掲書より

- 情報センターの機能
 - ネットワーク管理
 - サーバ管理

マネージメント



S.Umeda前掲書より

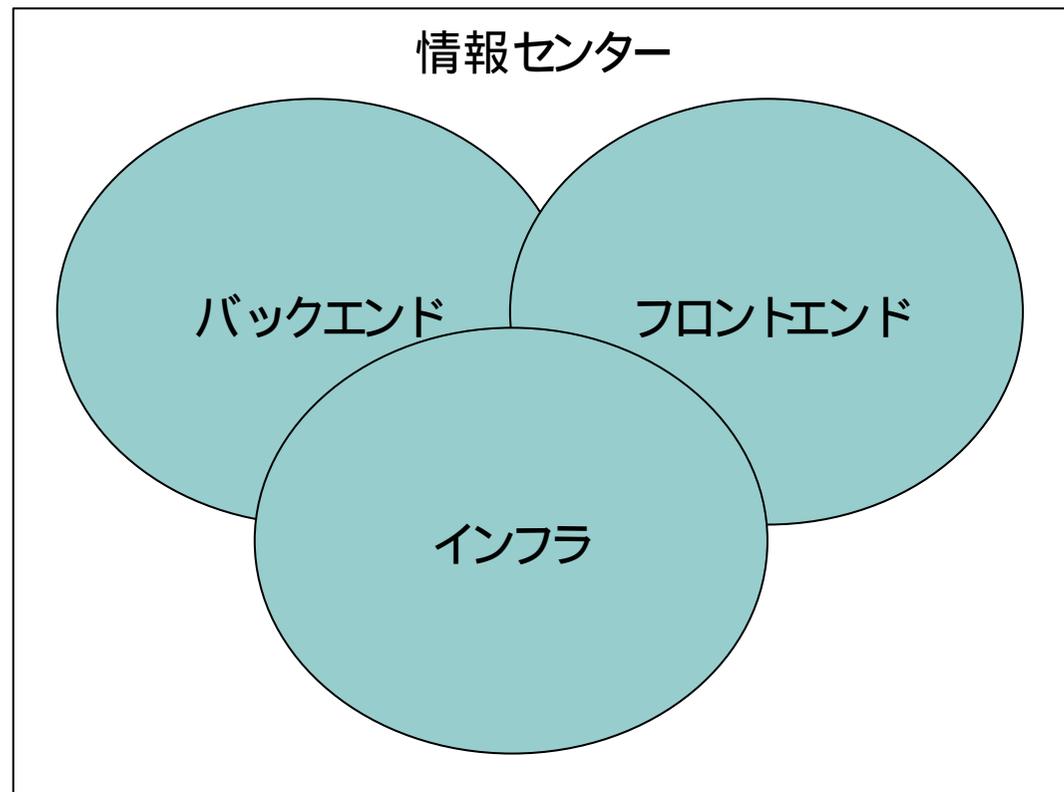
- 情報システムの統一的な管理
- これをだれがやるのかが問題

情報センターの歴史

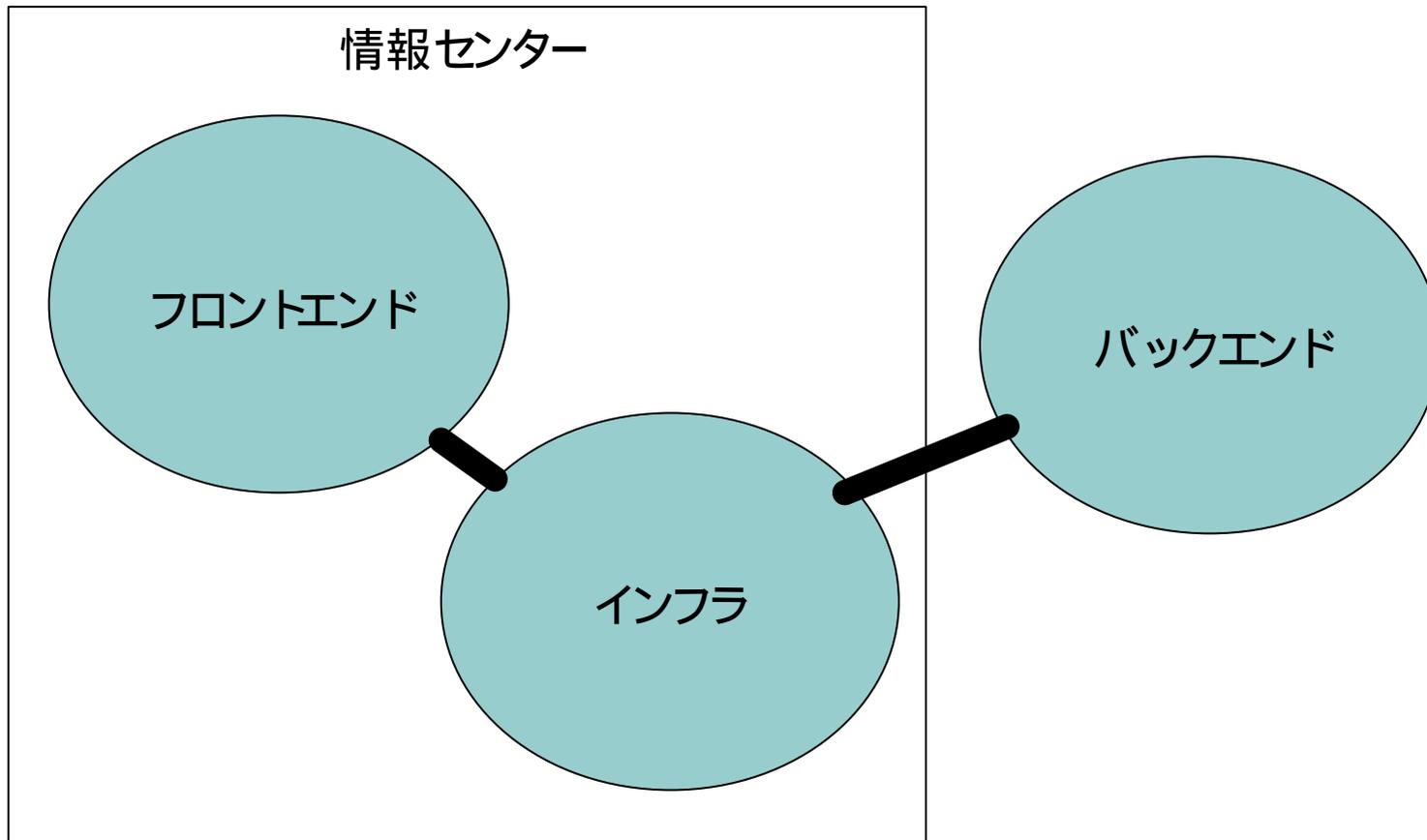
- 汎用機時代(1980年代)
- ネットワーク管理の時代 (1990年代)
- 現在 (2000年代)

汎用機時代のモデル

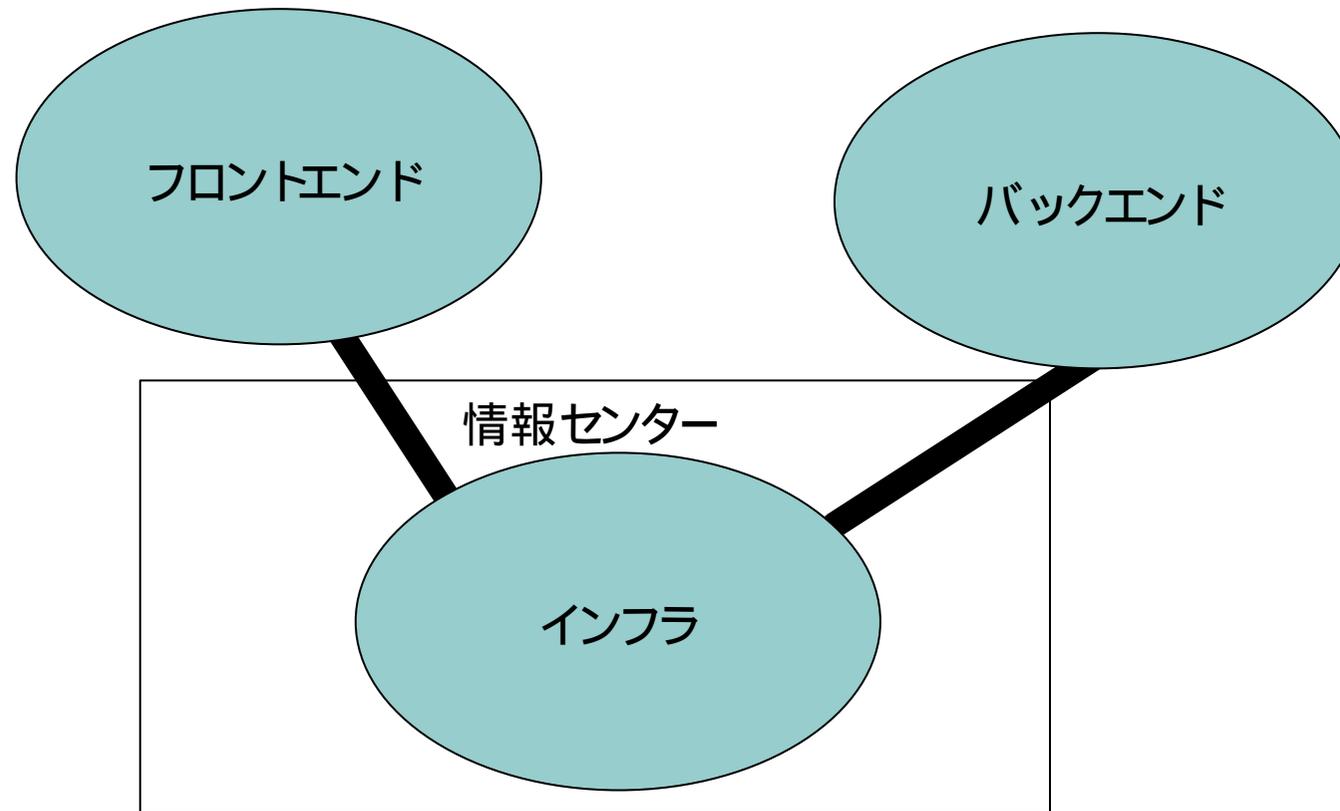
情報システム = 情報センターのシステム



ネットワーク管理(90年代)



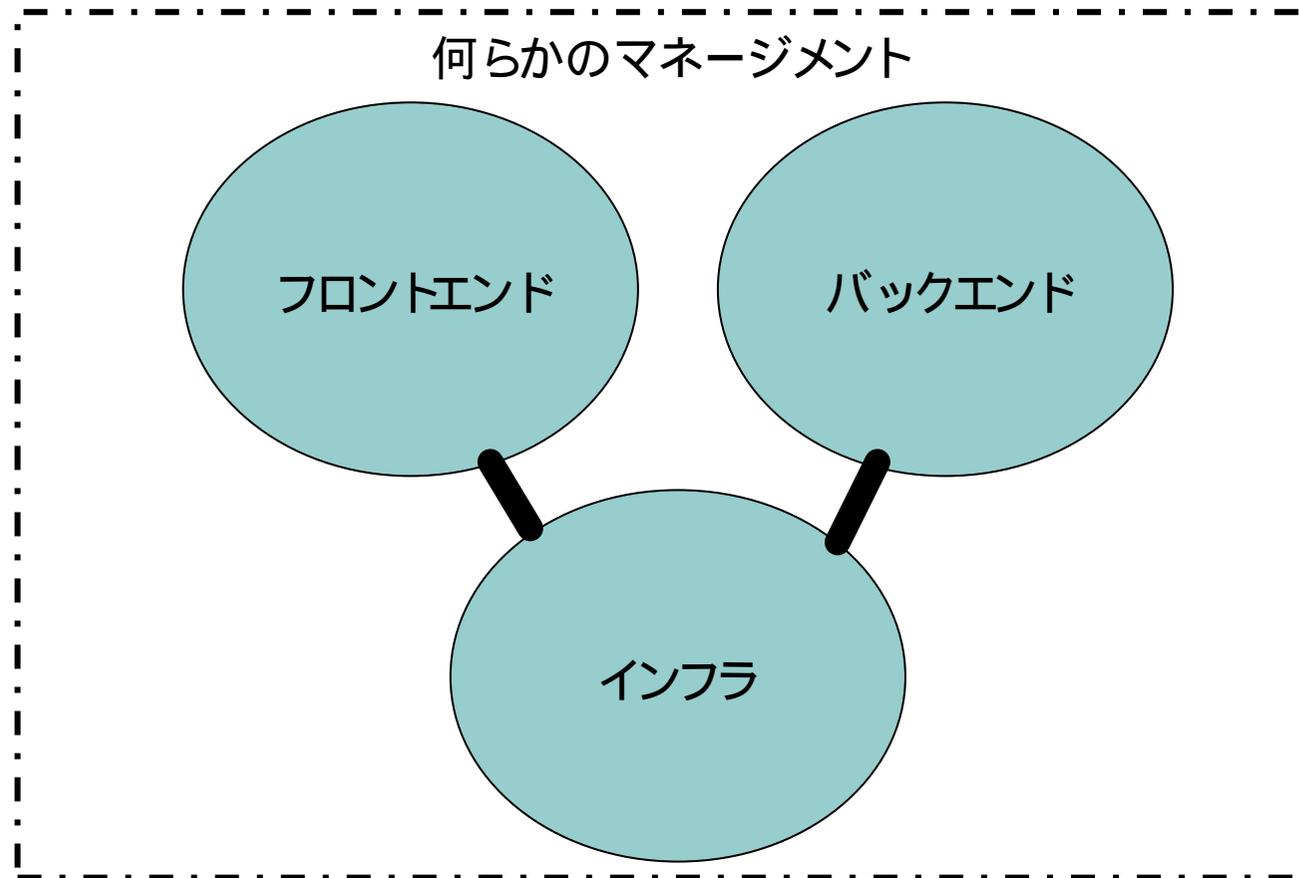
現在の情報システム



情報センターの現在

- インフラストラクチャ
 - サーバのホスティングやハウジング
 - 管理者のアウトソーシング
- フロントエンド支援
 - アウトソーシング
 - 専門学校への委託

これから...



教科「情報」の意味するもの

- 形式的 現状の多くの大学のリテラシー教育を上回る

学生の現状

- 現在の学生をみると、入学してくる学生間の情報格差が大きい
- ここ1,2年は格差が小さくなっているように見える

教科「情報」の問題

- 少しずつ小さくなっていった学生間格差が再び拡大する懸念がある
- 情報システムになじめない、しかし個性的な学生の死滅

教科「情報」以降 :補習機関の機能

- 情報センターの役割
 - USの大学などの例
- アウトソーシングもできる
- 大学の規模によって異なる

教科「情報」以降 教職課程への影響

- 制度上教職課程へのかなりの投資が必要
- 情報リテラシー教員の再就職先

教科「情報」の位置づけ

- フロントエンドへのインパクト
 - 情報リテラシー
 - 教職課程
 - そのほか
- センターとフロントエンドの関わり
 - 大学によって異なる

教科「情報」と情報センター

- 情報センターは、改変期にかかっている
- 教科「情報」の影響は部分的
- プロモーション作用はある

今後の情報センターの方向

- 大きな大学はセンターへの集中化
- 中小の大学はセンターがなくなる
- USでのERP利用の例
 - 大きな大学 :独自システム
 - 小さな大学 :ERPを利用する

今後の方向 (集中化)

- センターがすべてを抱え込む
- 大規模大学ではメリットがある

大学間の連携

- 中小の大学ではスケールメリットがある
- 情報システムに関しては、大学間の連携はすでに時代遅れ

今後の方向（消滅）

- すべてを外部に出す
 - サーバのホスティング、ハウジング
 - 学生、教職員保有PCの一括外部委託
 - LANからホットスポットとADSLへ
- さらに大学間が連携すればスケールメリットが出るケースもある。

アウトソーシングは失敗するか？

- 多くの失敗はマネージメントの失敗
- テクノロジーと融合したマネージメントが不可欠

Expert Power

管理者能力

背景技術に関する知見

Expert Powerが必須となる領域

- プロジェクトマネジメント
- アウトソーシング管理
- ユーザ間のコミュニケーションが必要な領域

情報センターに不要となるもの

- デスクトップPC
- LAN
- システム管理要員
- 情報システムの教員

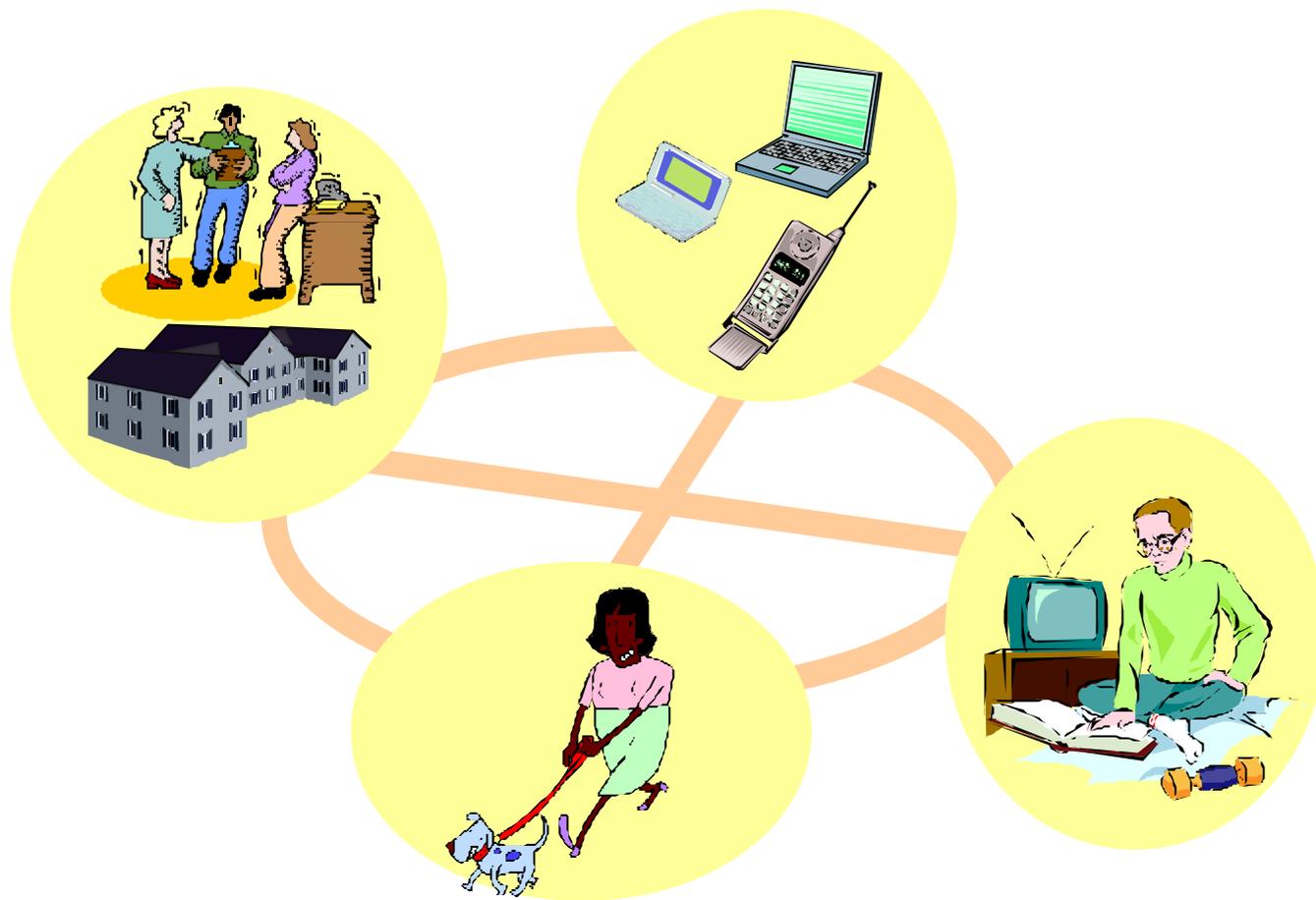
でもE-learningもあるじゃない？

- USではバブル崩壊
- 日本ではこれから？
- 技術よりもコンテンツ

E-learningの可能性

- 中小の大学が利用するメリットがある
- 大規模の大学ではプロフィットは十分でない
- どのようにして？
 - 学内では開発しない
 - 学内では運用しない

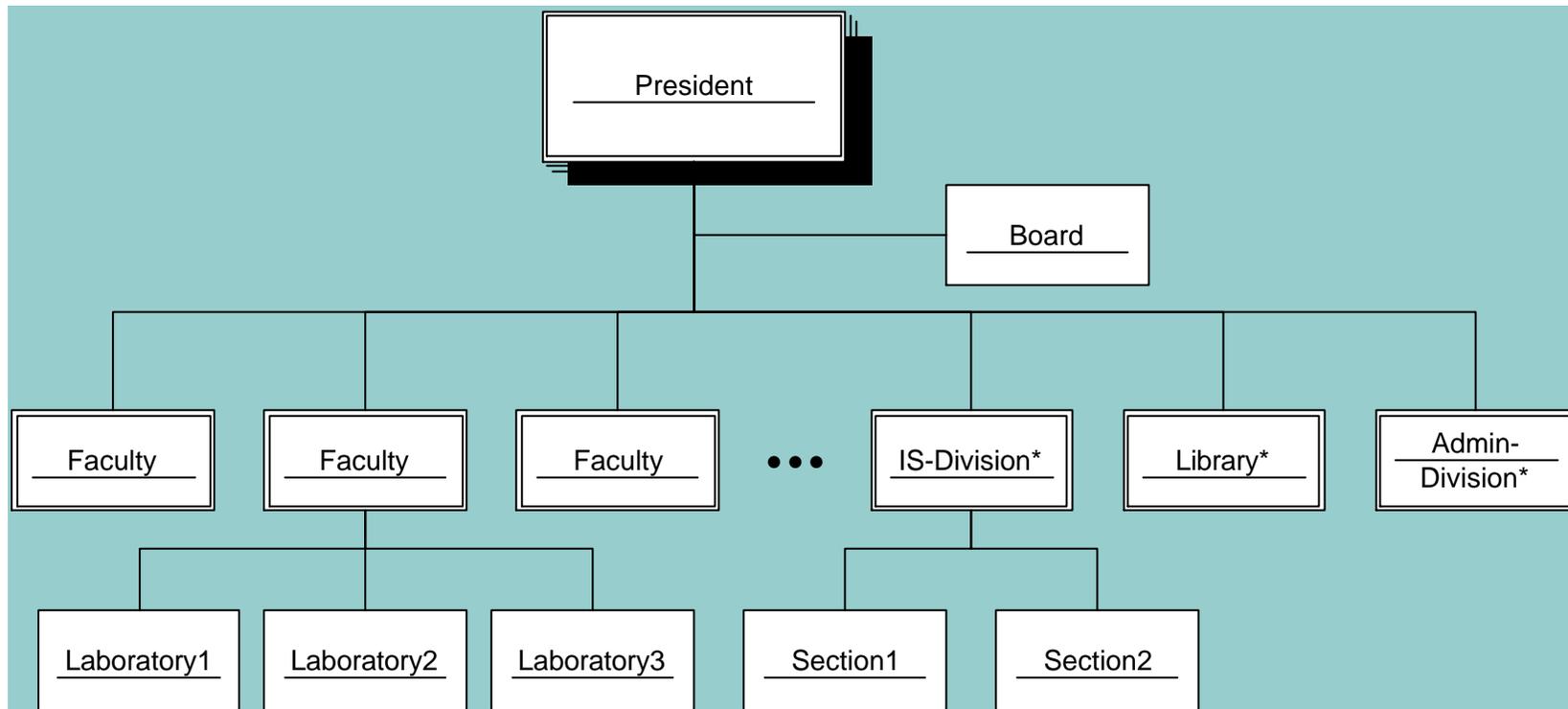
ユビキタス時代にセンターは必要？



情報センターとして残るもの

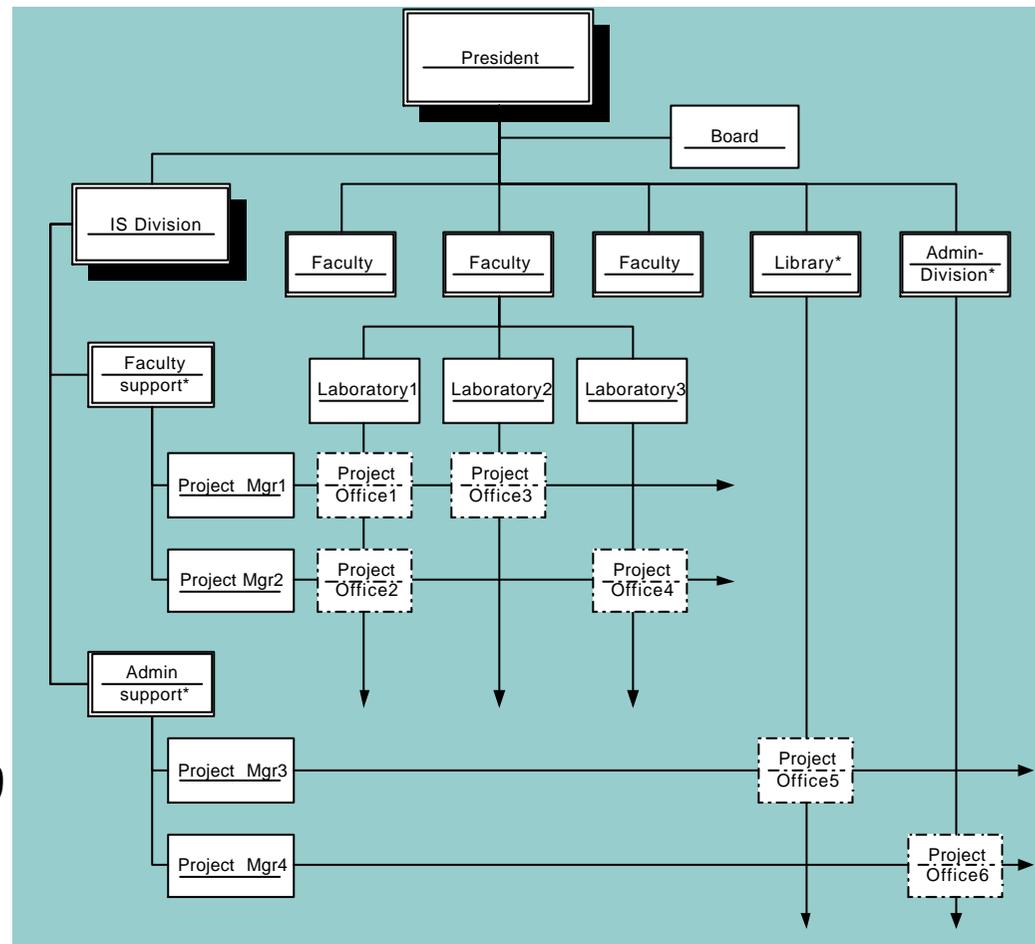
- コンテンツ開発、管理
 - 従来スタッフでは対応できない
 - いずれは、アウトソーシングすべきもの
- 情報システムマネジメント
 - 非常に重要
 - プロジェクトマネジメント能力が問われる

大学の組織



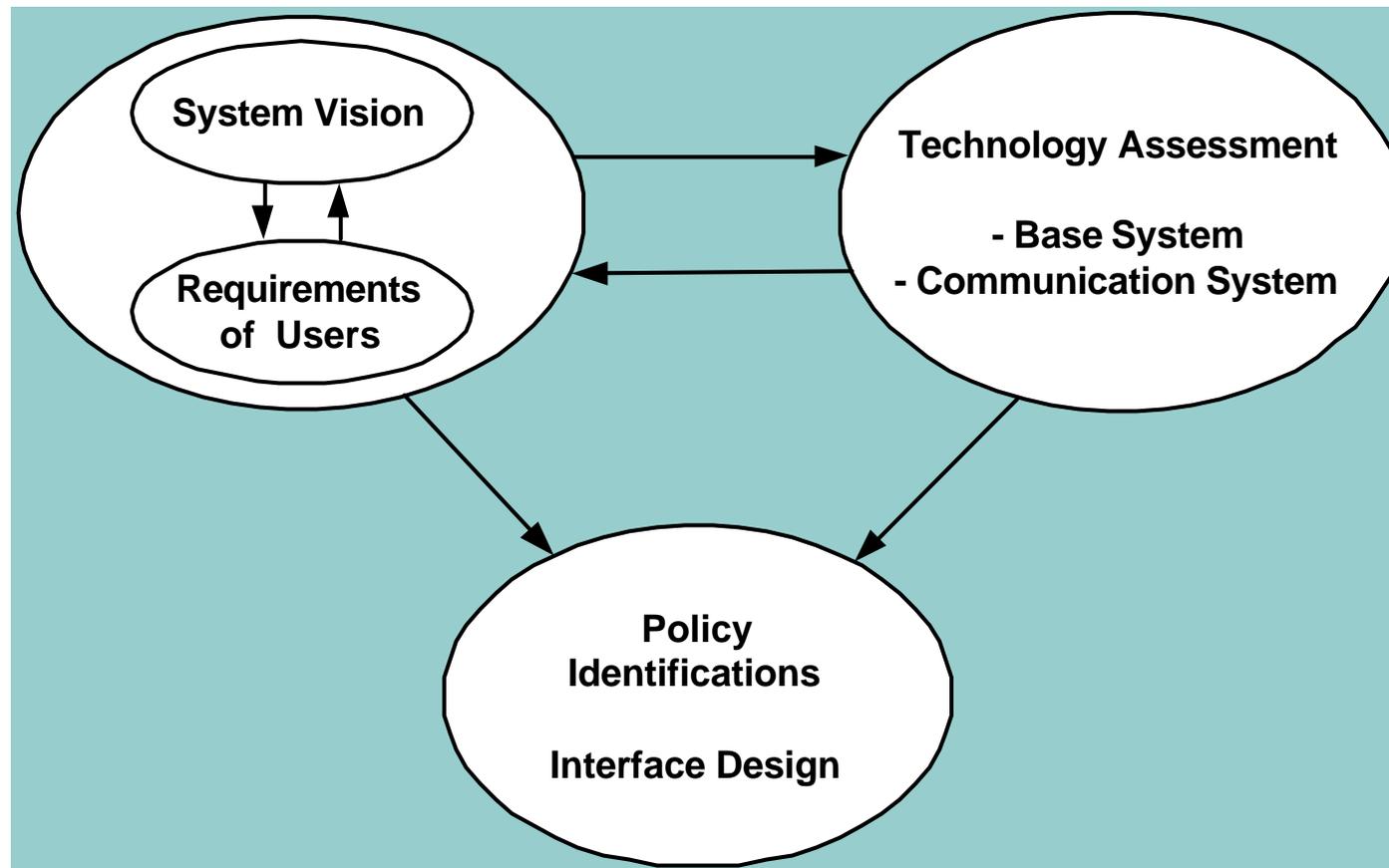
S.Umeda前掲書より

マトリックスな組織



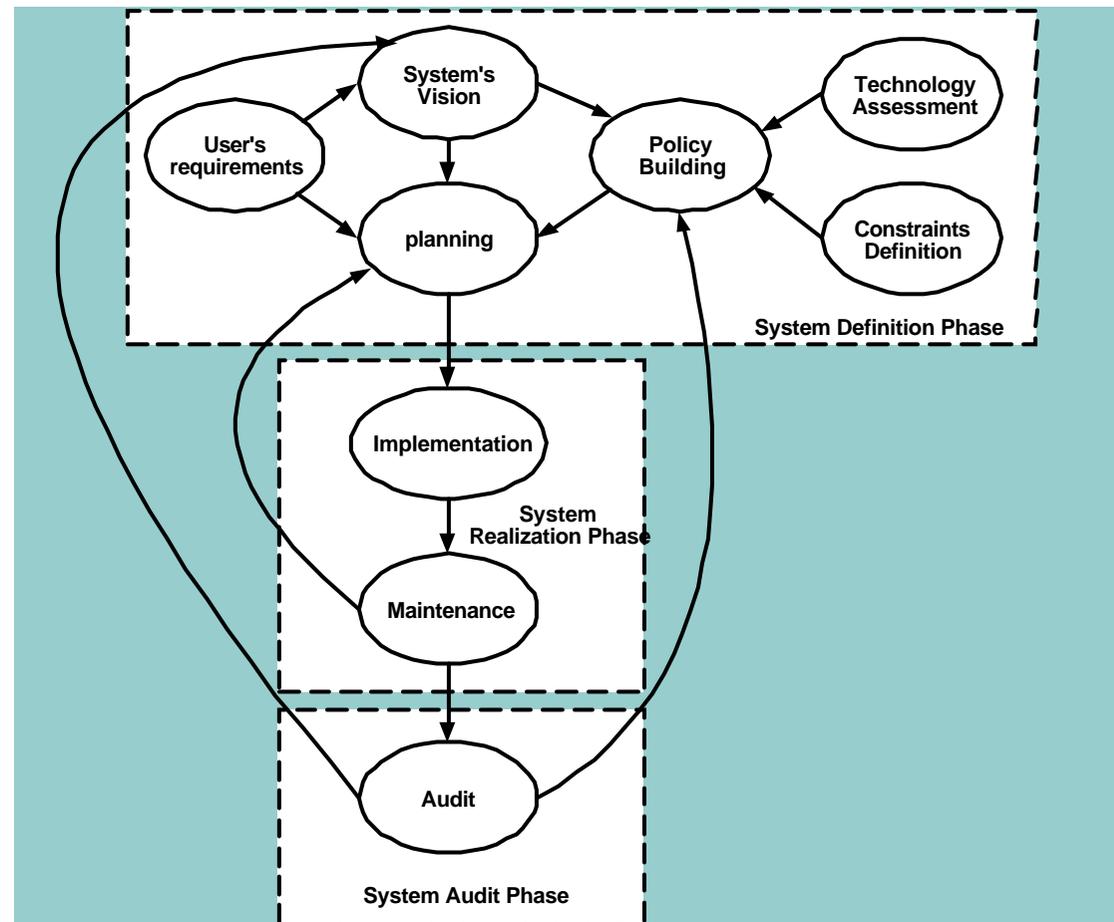
S.Umeda前掲書より

システムプランニングの形成プロセス



S.Umeda前掲書より

情報システムのプロセスサイクル



S.Umeda前掲書より

武蔵大学のケース

- 中小の文系大学
- 80年ほどの歴史 (そこそこ古い)
- ネームバリューはない

有史以前

- 1980年代
- 1台のミニコン
- Fortranの授業

1990年代前半

- センターの設立
- 汎用機
- Fortran等の授業
- インターネットへの接続

1990年代後半

- センターが大学の情報システムの計画者
- ネットワーク管理者の養成
- 汎用機の全廃
- ヘルプデスク、講習会などのユーザ支援
- ユーザの急増
 - ユーザの不満の急増

現状

- 情報システムセンターはインフラ整備部局へ
- アウトソーシングの利用
- 要員の削減
- 大学全体の計画者の不在

今後

- Chief Information Officer (CIO)の創設
- 監査部門の創設
- プランニング主体は誰か?
 - ユーザ Vs. CIO

議論しましょう

- 東京地域アカデミックネットワーク協会

<http://www.a-train.org>

プロジェクトマネジメントの議論

- プロジェクトマネジメント学会ライフサイクル研究会discussion board

<http://www.gssm.musashi.ac.jp/research/pm-islc/>

- 参考文献

S. Umeda and S. Ono; Outsourcing Strategy of Information Systems Management in Academic Organizations, Procs. of Int. Conf. on Project Management (PROMAC2002),pp. 311-316, Jul., 2002